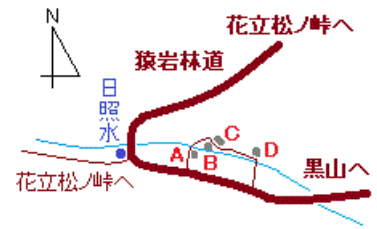


越生町黒山 日照水ボルダー

2018.12.3/retK

ここは、湧水としては有名な黒山の猿岩林道途中にある日照水の直ぐ傍にあるボルダーで、以前水を汲みに行った時にあることは分かっていたが、たいしたボルダーではなかったのも、特に今まで気にも留めないでいた。先日、四寸道の岩場で登った折に、久しぶりに水汲みに行き、ちょっと覗いてみると、小さいが意外と面白そうな岩もあったため、その後、水汲みついでにトライするため再度訪れた。



ボルダーは4つほどあり、岩質はチャートで高さは大きいものでも2m強程度。沢沿いで夏は周囲の木が覆い茂り乾きは悪いので、シーズンのには秋から春が良いと思われる。お勧めというわけではないが、一応このようなボルダーもあるということで紹介したい。

アクセスは、車利用で、黒山の北ヶ谷戸橋から日照水、花立松ノ峠方面に入る。日照水の辺りに何台か駐車できるが、休日には何台も水汲みの車が停まっているので、ボルダー近くへの駐車が難しい時があるかもしれない。

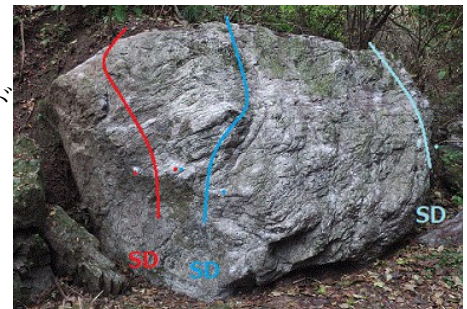
アプローチは、少し下ってA岩の上か、D岩の対岸から踏み跡を降りる。

なお、このボルダーもゴミがいっぱいで、特に水汲みに来た者が捨てた大きな4リットルのペットボトルや水ポリ、空き缶、空き瓶、ゴム長靴等様々なものが多量に捨ててあり、トライついでに一般ゴミの多くは回収した。沢に意図せず落としたものも幾つかはあるようだが、不法に投棄されたものか思えないものが多い。確認はしていないが、多分水汲み場からボルダーまでの間にはまだ沢山のゴミが捨てられていると思われる。ところで、ゴミの回収作業中に、水を汲みに来た親切な方が声をかけてくれて、粗大ごみとなるようなものを持ち帰っていただいた。その上、コーヒーを2本もいただき、感謝することこの上ない。「捨てる神あれば拾う神あり」というところである。

《課題紹介》

●A岩

右岸にあり林道からは見えはないが、白くきれいな岩。下流側のフェイスにSD課題が2本あるが、あまり良いフットホールドがなく、スタートが厳しい。

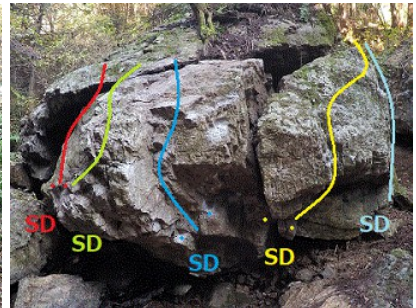
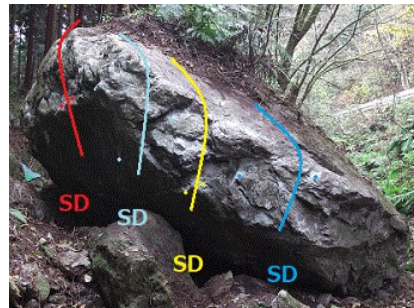


●B岩(左:山側ハング 中央:上流側 右:川側ハング)

苔とブッシュを落としたり周囲が楽しめるボルダーとなった。

川側のハングが面白いが水量が多い時は下地が水没し、取り付けない可能性あり。

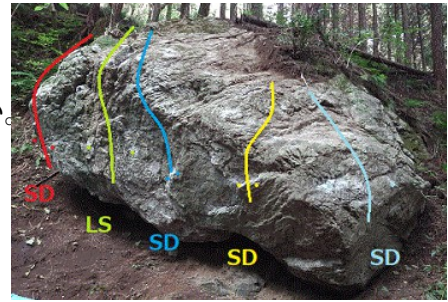
課題としては、川側のハングが短い面白い。



●C岩

B岩の山側にある横長のボルダー。下地が土手状で落ちた時に不安があるので、クラッシュパッドは考えて敷いた方が良い。

課題としては、皆そこそこ楽しめるが短い。なお、水色ラインから赤ラインまで、リップ付近を使わずにトラヴァースするラインは、ムーヴは繋がったが、通しでは未解決である。



●D岩

下流の少し離れた場所にあるボルダー。林道から直接アプローチできる。課題としては、被りはないが赤ラインが意外と面白い。

